

Weekly Report

ROTARY CLUB OF KONAN

2022-23



創立 / 1965年6月25日
例会日 / 毎週木曜日 PM12:30~
会場 / 江南商工会館1F 大ホール
江南市古知野町小金1-2
0587-54-8132

事務局 / 江南商工会館 別館1F
TEL / 0587-55-6554
FAX / 0587-59-7720
URL / <http://www.konan-rc.com/>
Mail / kouanarc@beach.ocn.ne.jp
会長 / 冨永典夫 幹事 / 岩田進市 会報委員長 / 北畑祐三



2022年(令和4年) 9月15日(木) くもり 第2739回(当年度第8回)例会

点鐘
司会
ロータリーソング斉唱
四つのテスト唱和

会長 冨永 典夫君
SAA 片平 博己君
「我等の生業」
片平 博己君

- 言行はこれに照らしてから —
1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか

ゲスト及ビジター紹介



江南市社会福祉協議会
地域福祉活動グループリーダー
伊藤 光洋 様



江南市社会福祉協議会
福祉活動専門員
鈴木 秀明 様
ようこそ江南ロータリークラブへ！

会長挨拶



先週の卓話は、耳の痛いお話もございましたが、これからの江南ロータリークラブの在り様に対するご意見として真摯に受け止め今後の活動に生かしてまいりたいと思います。「奉仕」と「親睦」が、ロータリーの両輪だと言われていますが、奉仕活動、とりわけ地元の問題に取り組む「社会奉仕活動」は、ロータリアンとしての意識を高める大切な活動だと思います。これには、自クラブの活動だけではなく、地域の活動を知る事によって、効果的な奉仕活動のアイデアを産み出します。1992年規定審議会は、社会奉仕に関する次の声明を採択しました。ロータリーの社会奉仕とは、ロータリアンひとりひとりの個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理想を適用することである。この奉仕の理想を実行するに当たっては、各ロータリークラブが多彩な社会奉仕活動を開発して、多くの会員による奉仕活動に輝かしい機会を与えてきた。ロータリアンの心構えとして、また、社会奉仕活動に関するロータリーの方針を明確にするために、その原則は、「社会奉仕は、ロータリアンひとりひとりが「超我の奉仕」を実証する機会である。地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、またロータリークラブにとっても献身に値することであり、社会的責務でもある。」

とまとめられました。地域社会の問題は、表面化しているものが非常に少なく根が非常に深いものです。本日は、江南市社会福祉協議会 伊藤 光洋 様と鈴木 秀明 様をお迎えしております。子ども食堂の開催に対し感謝申し上げます。地域に密着した奉仕活動において色々な情報を得ることはアイデアを生むためにも重要なことと思います。本日の卓話が参考になればと思います。

幹事報告 -別紙- 幹事 岩田 進市君
出席報告 委員 木本 寛君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
46名	33名	13名	80.49%

ニコボックス 委員 木本 寛君
○2760地区2022-23年度クラブフォーラム
奉仕プロジェクト常任委員会、江南市社会福祉協議会
地域福祉活動グループリーダー 伊藤 光洋様
福祉活動専門員 鈴木 秀明様
本日の卓話、よろしくお願ひ致します。
富永 典夫、南村 朋幸、岩田 進市、駒田 洋平

各君
○先日、弊社の周年記念行事を無事終えることができました。ありがとうございました。

南村 朋幸君
○江南キッチンカー子ども食堂事業は、皆様のお力添えで盛況に行うことができました。江南社協の伊藤様、鈴木様本日は宜しくお願ひします。

近藤 道磨君
○R.I.D2760 2022-23年度 クラブフォーラム
奉仕プロジェクト常任委員会
本日の卓話、よろしくお願ひ致します。
庄田 元久、杉浦 賢二、伊藤 靖祐、片平 博己、
長瀬 晴義、富田 清孝、波多野 智章、木本 寛
各君

卓話



江南市社会福祉協議会
地域福祉活動グループリーダー
伊藤 光洋 様

生活困窮世帯の現状と 子ども食堂の取り組みについて

社会福祉法人 江南市社会福祉協議会



地域福祉活動グループ 伊藤光洋
鈴木秀明



社会福祉協議会とは？

- ・社会福祉法第109条第1項に地域福祉を推進する団体として位置づけられています
- ・令和2年度に法人設立40周年を迎えました(社会福祉法人として)
- ・社会福祉協議会を「社協」と略します(例：社協だより)



社会福祉協議会(社協)に寄せられる相談例

- 「引越してきたばかり、何か通える場所はありますか」
- 「何かボランティア活動がしたい」
- 「母が介護必要、どうすれば」
- 「子どもに障がいがある。何かサービスは使えますか」
- 「お金に困っています、何か助けてくれませんか」
- 「父が認知症、お金の金銭管理が不安なんです」
- 「家事に不安があります。ヘルパーはお願いできますか」

江南市社会福祉協議会(社協)の主な活動事業

地域福祉活動事業 ・学校での福祉教育活動 ・地域の通いの場所の支援など	生活困窮者自立相談支援事業 ・生活困窮者への相談支援 ・食糧支援や資金貸付など
ボランティアセンター事業 ・障がい者支援の活動 ・災害ボランティアセンター活動(市と協働)	在宅福祉サービス事業 ・ホームヘルパー派遣 ・ケアマネージャーによる支援など
障害者相談支援センター事業 ・障がい児・者の相談支援 ・福祉サービスの情報提供など	権利擁護事業 ・福祉サービスの利用援助 ・障がい者の財産管理など

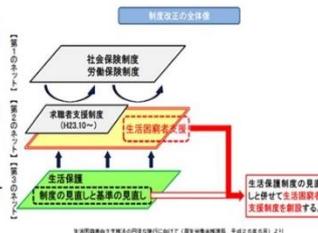
その他にも、児童・高齢・障がい問わず、相談支援を行っています

生活困窮者自立相談支援事業とは？

生活保護に至っていない生活困窮者に対する、

「第2のセーフティネット」を全国的に拡充し、

包括的な支援体系を創設するもの



生活困窮者とは？

生活困窮に至る背景

就労困難、就労定着困難、債務、家計管理の問題、
ひきこもり、障がい、依存症、家庭内不和、離婚など…
→複合的な問題を抱えている場合がある

社会的な繋がりが薄く、誰にも相談できない状態
(孤立状態)

生活困窮 = 経済的孤立 + 社会的孤立

困りごとの相談例

くらしのこと

- 生活に不安がある
- 病院に行けない
- 家族がひきこもっている

住まいのこと

- 家賃が払えない
- 家を建て直さなければならない

しごとのこと

- 仕事が見つからない
- 働きたいけどプランがある
- 社会に出るのが不安

お金(家計)のこと

- 子どもの学費がない
- 税金を滞納している
- 借金の返済が大変
- 電気や水道が止められている

生活困窮世帯自立相談支援実績

令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談受付件数 92件 (就労者 20名)	相談受付件数 530件 (就労者 2名)	相談受付件数 230件 (就労者 8名)
フードバンク活用件数 22件	フードバンク活用件数 18件	フードバンク活用件数 17件

※生活福祉資金貸付制度の件数は除く

フードバンク事業

フードバンクとは?

包装の痛みなどで品質に問題がないにもかかわらず、市場で流通出来なくなった企業などから寄付を受け、生活困窮者などに配給する活動。

江南市社会福祉協議会ではフードバンク事業を『セカンドハーベスト名古屋(2HN)』と契約を結んで実施しています。

フードバンク事業

フードバンクとは?

本来なら食べられる安全性や品質に問題のない食品などを...捨ててしまつた「食品ロス」に...

せっかくつくつたものを捨てるのはもったいない... やりきれない...

フードドライブで活用すれば「ありがとう」につながる「おもいやり食料」に。



フードバンク事業



～お届けする食料の一例～

- ・アルファ米(1食分)×15袋
 - ・レトルトカレー(1食分)×6袋
 - ・フルーグラーノ×1袋
 - ・インスタント味噌汁(8食分)×2袋
 - ・保存パン×4個
 - ・缶詰×4個
 - ・カロリーメイト×2.2個
 - ・お菓子×8個
- e t c...

- ◎約2週間分の食料
- ◎機能しているライフラインや調理器具に応じた食料を提供

コロナ禍により増えた相談・対応例

「お金に困っています、何か助けてくれませんか」

生活困窮者自立相談支援事業

- ・生活困窮者への相談支援
- ・食糧支援や資金貸付など

生活費の貸付制度(生活福祉資金の特例貸付制度)

- 江南市の貸付件数及び貸付決定額
- ① 緊急小口資金(1世帯の上限20万円) ※令和4年9月30日まで延長
 - 令和2年度: 529件、94,900,000円
 - 令和3年度: 173件、33,100,000円
 - ② 総合支援資金(1世帯の上限20万円×3か月) ※令和4年9月30日まで延長
 - 令和2年度: 176件、78,713,000円
 - 令和3年度: 319件、173,499,000円

貸付合計額 3億8021万2000円

コロナ禍により増えた相談・対応例

「お金に困っています、何か助けてくれませんか」

生活困窮者自立相談支援事業

- ・生活困窮者への相談支援
- ・食糧支援や資金貸付など

生活に困っている世帯の子どもへの支援

「家庭学習応援パック」の配布(令和3年度実施・4年度も実施予定)

生活福祉資金の特例貸付である総合支援資金の借受世帯の子どもを対象に、子どもの学習環境の支援や家計の補助を目的として、文房具類や図書カード、ギフトカードを「家庭学習応援パック」にして配布
配布数: 49世帯の子ども86名(18歳以下)

コロナ禍により増えた相談・対応例

「お金に困っています、何か助けてくれませんか」

生活困窮者自立相談支援事業

- ・生活困窮者への相談支援
- ・食糧支援や資金貸付など

生活に困っている世帯の子どもへの支援

「食料支援パック」の配布(令和4年度実施 ※臨時事業)

生活福祉資金の特例貸付である総合支援資金の借受世帯の子どもを対象に、夏休み期間の家庭内の食糧費等の負担増が想定されるため、1週間程度の食料(レトルト食品等)を「食糧支援パック」にして配布
配布数: 48世帯の子ども89名(18歳以下)

コロナ特例の面談を通して見えてきた問題

- 一人親家庭の貧困
- 高齢者の貧困
- 8050問題
- ひきこもり
- 精神疾患
- 非正規雇用(派遣切りなど)
- 借金問題(消費者金融など)
- 外国籍世帯

※江南市内に生活困窮世帯が現実(リアル)にある



江南市社会福祉協議会
福祉活動専門員
鈴木 秀明 様

最近よく聞く、子ども食堂とは

子どもやその親、および地域の人々に対し、無料または低価格で栄養のある食事や温かな団らんを提供するための活動であり、地域住民のコミュニケーションの場としても機能するもの。(農林水産省公式サイト、NPO法人全国子ども食堂支援センター)

【期待される機能】

子育て支援、孤食対策、地域交流・地域活性化
→ 子ども食堂は、子どもだけの食堂ではない



江南キッチンカー子ども食堂“@”の取り組み

キッチンカーを活用したテイクアウト型の「子ども食堂」を開催し、参加者が歩いて通いやすい場所にキッチンカーで出向き、以下の取り組みを行い、子どもや子育て世帯への支援を目的に開催しました。

- ① 食事の提供 → あたたかいご飯と人との関わり
- ② 学びの居場所づくり → 勉強や宿題などのサポート
- ③ 未使用文具等収集 → 学習環境の支援と循環のしくみ

事業をはじめたきっかけ



コロナ禍により江南市社協へ生活に困っている
子育て世帯からの相談件数が増加している状況。

【江南市社会福祉協議会として】

子どもたちへ温かいごはんと学習できる居場所を届けたい、という想いで開始したが・・・。

市内で「子ども食堂」ができる環境確保が困難、車内で調理できるキッチンカーをレンタルして開始したのがきっかけ。

江南キッチンカー子ども食堂（キッチンカー）



江南ロータリークラブ様から多くのご支援をいただきました

お米
150kg
キッチンカー
看板類
の寄贈



江南キッチンカー子ども食堂“@”の取り組み

NO	日程	場所	提供食数
1	8月2日(火)	江南市老人福祉センター	92
2	8月4日(木)	吉野野公民館	68
3	8月5日(金)	布袋北部地区学習等供用施設	31
4	8月9日(火)	吉野野西公民館	62
5	8月12日(金)	古北にじいろ会館	91
6	8月16日(火)	空田地区学習等供用施設	59
7	8月17日(水)	草井地区学習等供用施設	54
8	8月18日(木)	布袋南部地区学習等供用施設	81
9	8月25日(木)	江南市老人福祉センター	75
10	8月26日(金)	江南団地集会所付近	150
※	8月23日(火)	DIYPARK 江南ロータリークラブ共催	158

【提供食数】
921食

【寄付金額】
128,509円

※い羽根共同募金へ全額寄付

① 食事の提供(手作りカレーピラフを届ける！)



点 鐘

会長 富永 典夫君

本日の食事



会報掲示板



My ROTARYの登録はこちら
※初めての方は
アカウントを作成してください。
※アカウントがある方は
ログインしてご覧ください。



ROTARY 2760
アプリダウンロードはこちら

写真等がございましたら会報までお知らせください
(担当 早川 一三・山崎 博征)